

平成30年度 食の安全安心セミナー 「食品中の放射性物質～震災から7年の歩み～」アンケート結果

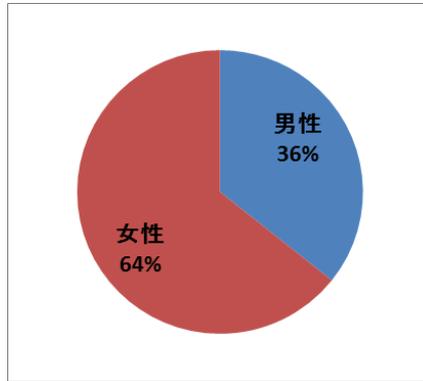
開催日時	平成31年2月20日（水）午後1時30分から午後3時30分まで		
場所	宮城県自治会館205・206会議室		
内容	情報提供「食品中の放射性物質に関する震災からの歩み」 消費者庁消費者安全課 政策企画専門職 井河 和仁 氏		
講演	「食品中の放射性物質と健康への影響」 公立大学法人福島県立医科大学附属病院 放射線腫瘍学講座 佐藤 久志 氏		
主催	宮城県	共催	消費者庁

○参加者：45名 アンケート回答者：42名（回収率：93%）

問1 ご自身についてご回答ください

(1) 性別

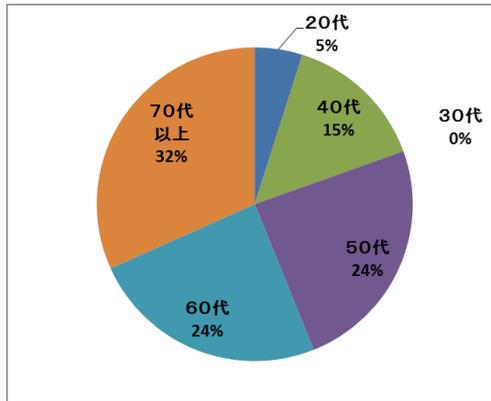
男性	15人
女性	27人
計	42人



(2) 年齢

～20代	2人
30代	0人
40代	6人
50代	10人
60代	10人
70代～	13人

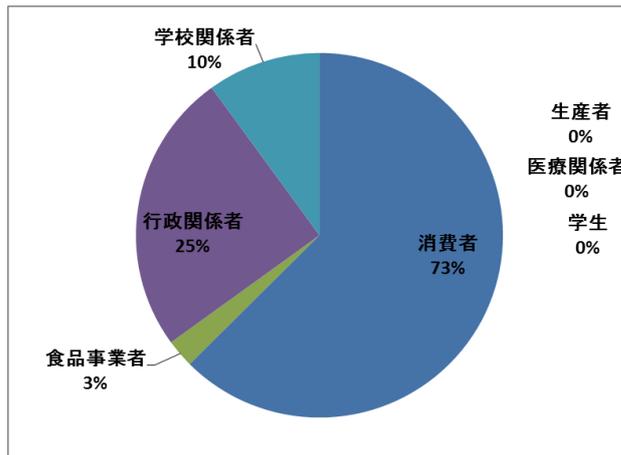
無回答 1



(3) 職業（所属）

消費者	25人
生産者	0人
食品事業者	1人
行政関係者	10人
学校関係者	4人
医療関係者	0人
学生	0人
その他	0人

無回答 2



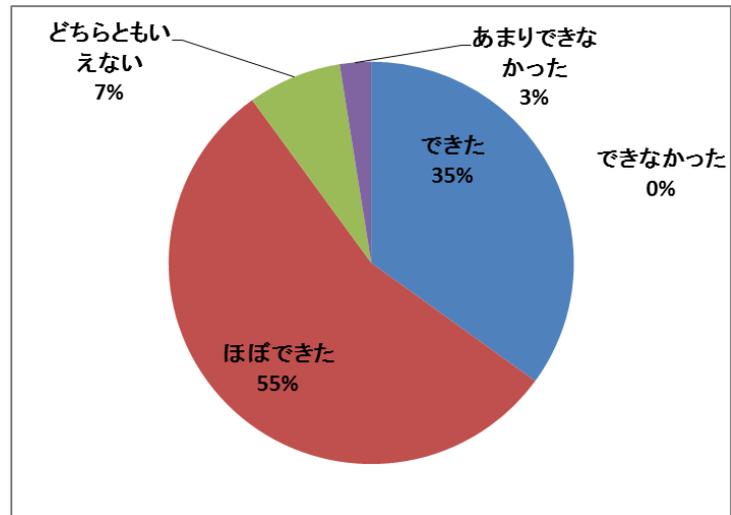
問2 セミナーについてお伺いします

(1)「食品中の放射性物質に関する震災からの歩み」(消費者庁 井河氏)

内容は理解できましたか

できた	14人
ほぼできた	22人
どちらともいえない	3人
あまりできなかった	1人
できなかった	0人

無回答2



理由 (自由記述)

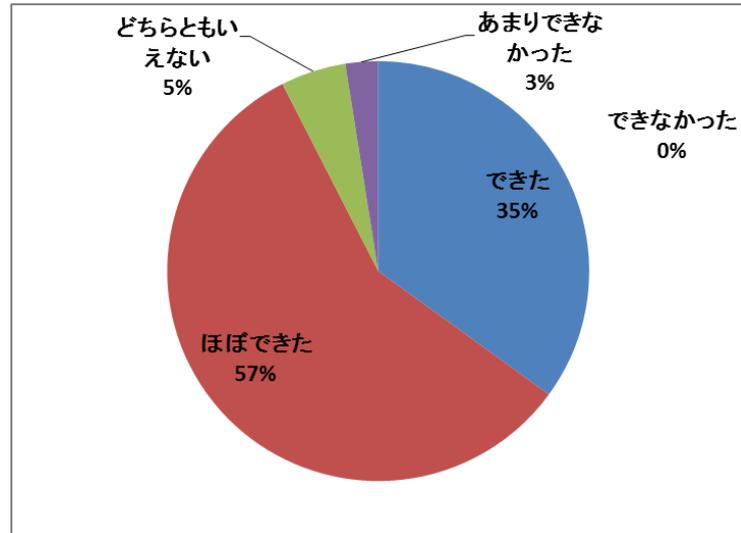
- ・ 先生のお話がだいたい分かりました。
- ・ データからわかりやすい
- ・ モニタリング等の検査結果が0%で表されている。
- ・ 測定が下がったと説明しているが、物質がどうなったのか、どこへ行ったのかの説明がない。全体量は変わらないのではないか。
- ・ 政策的なベースを作る立場でのお話は特に良かった。
- ・ わかりやすい説明で良かった。具体的。
- ・ 厚生労働省にいた方なので、とても細かい説明もあり、勉強になりました。中国産は危なくないという言葉は印象深く、より深く聞いてみたい内容でした。放射性物質に対しての福島の様子も伝えて頂き分かりやすかったです。
- ・ 震災直後の不安な時期から、少しずつセミナー等で学習する機会を得て、知ることにより不安が解消されました。
- ・ 知らなかった時よりは知り得た。
- ・ 情報を取ったら自分で考えて行動する。放射性物質だけをこわがらない。
- ・ 井河先生の講話は解りやすく、親しみやすく良かった。
- ・ 震災から今までの放射性物質についての説明はわかりやすかった。
- ・ とてもわかりやすく、良かったです。今日の資料を家に帰ってもう一度読み返してみたいです。
- ・ 放射性物質だけが人間に影響を及ぼすと考えるのは間違いだと、良く理解できた。自然と放射能が減少したと考えている人も多いと思うが、実際はいろんな人が陰で努力をしているという内容に、その通りであると、とても共感することができました。
- ・ 話が分かりやすかった。

(2) 「食品中の放射性物質と健康への影響」(福島県立医科大学附属病院 佐藤先生)

内容は理解できましたか

できた	14人
ほぼできた	23人
どちらともいえない	2人
あまりできなかった	1人
できなかった	0人

無回答 2



理由 (自由記述)

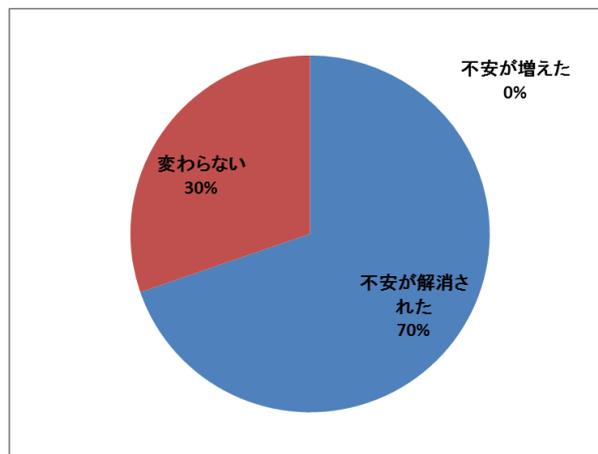
- ・ 科学は皆に寄り添うことは無い。考えさせられた言葉でした。
- ・ 概ね先生のお話の内容が理解できたと思います。
- ・ 理解できた。
- ・ 例が非常にわかりやすい。
- ・ 現場のドクターの生の情報が聞けたという実感で、充実した時間でした、混乱した時ほど、まわりに振り回されず情報収集して自分で判断すること、肝に銘じました。ありがとうございました。
- ・ 食品中には自然放射性物質が含まれている。自分で良く考えて行動すること。
- ・ 原発由来の物質を根本的に無にする方法は考えられているのか。撤去すればOKと考えるのかお伺いできればと感じました。
- ・ 東日本大震災の経験者で、本当にそうだとすんなり心に響いた。またその見方が変わった。お忙しい中、仙台でのセミナーありがとうございました。
- ・ 実践現場での詳細なお話で大変良かった。
- ・ 難しいことをわかりやすい説明であった。体験談がとても参考になった。
- ・ 福島県に住んで震災の経験もされた方でとても良い勉強になりました。詳しく説明して頂いて、今までの先生とは違う、福島の子どもの状況を教えて頂いて貴重なお話でした。最後は自分で考えて判断する事、印象深いです。
- ・ 自分で考え判断する基礎知識とすることができた。
- ・ とてもわかりやすく学ぶ事ができました。震災後の自分の情報の選択の未熟さを痛感しました。これからも正しい知識を得ていきたいと感じます。
- ・ わかりやすい事例をあげていただき、中身が理解しやすかった。
- ・ 先生のお話は人を引きつける力があって、思わず前のめりになって聞きほれました。
- ・ 科学はやさしくないけれど、とても大切なデータは、未来の何かあった時の目安になる。
- ・ 放射線について無能な私でしたが、今回の講座に参加して少し理解できた。ベクレル、シーベルトの区別がはっきりして収穫になりました。
- ・ とても安心しました。山元町も山菜を随分食べました。震災当日から山菜を炊き出しで皆さんに食べて頂きました。今日のお話では、あれから8年になります。もう体内にはほぼ無くなったのですね。うれしかったです。

- ・ 今まで私の中であいまいになっていた、ベクレル、シーベルトを詳しく学べ、どれほどの人への被害があるのか考えることができた。また、震災での被ばくは、外部被ばくがほとんどであることも、今回の講話で知ることができてとても良かったと思う。
- ・ 話がわかりやすかった。

(3) セミナーに参加して食品中の放射背物質に対する意識に変化がありましたか。

不安が解消された	23人
変わらない	10人
不安が増えた	0人

無回答9



理由（自由記述）

①「不安が解消された」を選んだ理由

- ・ 完全ではありませんが、少し理解が出来た様な気がします。
- ・ セミナーの流れとして、情報提供→講演がよく連動していてわかりやすかった。
- ・ 普段からあまり不安は感じてはいませんでしたが、本日の講座でなお安心しました。
- ・ 既存の考えが打破されたから。
- ・ 消費者庁現職の人がお話することは大変貴重でした。モニタリング等検査結果の数値も説明してくれたのは、今の福島県を知れた感じです。震災から8年が経ち、今の姿を知り、自分で判断して意識を変えていく事、大事だと思いました。
- ・ 自分で判断する！という考えに到れたから。
- ・ 国がしっかり検査された物が市場に出回っているの、安心して生活ができる。
- ・ 誤った情報に不安を感じていましたが、これからは自分で情報を集め、選択していければと思います。
- ・ 食品中の放射性物質が健康に及ぼすリスクの内容がよくわかり、影響も少ないということが理解でき、不安が解消された。
- ・ 生きてると放射性物質が出ているので生活するのに問題は無いのかなと思いました。
- ・ お二人の講話により、今までおそれていた放射性物質に対する不安が少し解消されました。
- ・ 体内から出す事ができるとの話だったので安心しました。

②「変わらない」を選んだ理由

- ・ もともと気にしていない。
- ・ 不安は特になかった。
- ・ 正しい知識を本日、聞いたのでどちらかという安心です。

問3 セミナー全般について伺います

(1) 今後聞いてみたいテーマや食の安全安心について関心のある内容（自由記述）

- ・ GAP 認証の取組み
- ・ 仙台港で海に油が流れ「のり」の養殖等のニュースが出ています。宮城県のこういうニュースが流れるたび、食の安全安心という意味で聞いてみたいです。「豚コレラ」も今流行ですし、あまり知識のない私は聞いてみたいです。
- ・ このような事実を多くの人に知っていただきたいと思いました。
- ・ 食品の流通、食品の選び方
- ・ 輸入品（中国産野菜）が多くなってきているようなのですが、安全面はいかがなものでしょうか。
- ・ 遺伝子組換えについて
- ・ ウィルスや細菌についても講演があれば参加してみたいと思います。

(2) その他、ご意見・ご感想

- ・ いろいろなことが、なるほどと理解でき、安心したことが多かった。ありがとうございました。
- ・ なるべく現場の人たちのお話が聞きたいです。故に今日の講師、家族のことも含めてのお話、選定は大変よかったです。ありがとうございました。
- ・ 放射性物質のことは良くわからなかったのので、人に説明することが出来なかったが、やっと少しできるかな。
- ・ 「実際・実測・実験値」の工程での説明を受けたまわらないと納得できません。
- ・ 厚生労働省食品安全部輸入食品安全対策室の方が、もし来てくれるのであれば、輸入食品に対して聞いてみたいと思いました。残留農薬、食品添加物、国の輸入食品の今の現状を知りたいと、井河和仁先生を見て感じました。
- ・ 昨年、福島へ友人と出かけました。地場産品の米・野菜をいっぱい食べておいしさに満足して帰ってまいりました。これからも安心して出かけていきたいと思います。
- ・ 勉強になりました。難しい中身だが参加して良かったです。眠気も吹き飛ばすような内容でした。福島市内に姪が住んでいて毎年桃を送ってくれておいしく食べています。
県北地方で稲わらを燃やして畑にすき込むことをいつも不思議に思っています。燃やすと煙で空気中に出るのではないかと、また、土に残って作物に取り込まれるんじゃないかと、素人はわからないことばかりです。残っている放射性物質をあちこちに散らして、1ヶ所（大熊町、双葉町）にまとめないという事がわからない。何十年も帰れない土地なら、そこに集めることしかできないんじゃないでしょうか。
- ・ 佐藤先生の話はとてもわかりやすく、勉強になった。一定の時を経てわかること（検証できること）も多い。とても良い機会だった。感謝します。
- ・ セミナーがあればまた参加していきたいと思います。
- ・ 今回のセミナーありがとうございました。ためになりました。